

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	
目標年度	令和 14年度
市町村名 (市町村コード)	甲賀市 252093
地域名 (地域内農業集落名)	土山町大野 末田(2) (末田・上駒月)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	24.86 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	24.59 ha
② 田の面積	24.59 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.88 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	- ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】 農業者の高齢化及び減少が著しく、農地維持活動が困難になりつつある。複数の担い手が耕作する圃場は、条件が悪く、農地区画も一部狭小なものが含まれる、営農を行うに当たっては決して有利な状況ではないが、引き続き農業者の確保や耕作条件の改善が必要と考える。

【課題】 農業者の減少・担い手の確保・耕作条件の改善

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

昨今の気候変動や国の農政事業の将来について、見通しが安定しない、また当該地域は、獣害等の懸念もあるが、水稻・麦の作付けを主軸として地域の営農を安定化させ、また地域内外から農業者を受入れる。それと平行して耕作条件の改善を進めていくことで、農地の未来への継承を進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付を進め、地域担い手への農地集約により営農の効率化および安定化を図る。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	55 %	将来の目標とする集積率	54 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地が大半を締め始めており、また他の農業者が高齢化により離農が加速すると想定されるため、今後5年ほどで担い手への集約化が進むと考えられる。そのため、今後は担い手の団地化を意識して進め、経営効率化を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組				
今後も継続して地域内での話し合いを実施し、目標地図の見直しを行って、農地の集約化を行う。				
(2)農地中間管理機構の活用方法				
目標地図に沿った形で農地中間管理機構を農地の貸借を進める。				
(3)基盤整備事業への取組				
農地の区画整理・水利設備の改善等を行い、将来へむけて営農環境の改善を図る。				
(4)多様な経営体の確保・育成の取組				
地域内外から意欲ある農業者を募り、農業者、地域及び関係機関が一体となって確保・育成に取組む。				
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組				
農作業量が多くなることが容易に想像できるため、“楽農”や“アグリサポート”などの農業支援サービス事業者を積極的に活用し、営農活動の安定を図る。				
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)				
☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
①獣害防止に向け、集落による獣害柵点検を定期的に行っているが、今後も継続して行う。				
②環境こだわり農業を継続する。				
⑧農村まるごと保全向上対策に継続して取組み、農道・水利施設の保全に努める。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稻	0.40 ha	ha	水稻	0.40 ha	ha	茶	-
利用者		水稻	0.88 ha	ha	水稻	0.00 ha	ha	青	-
利用者		水稻	3.23 ha	ha	水稻	3.48 ha	ha	緑	-
利用者		水稻	0.27 ha	ha	水稻	0.27 ha	ha	赤	-
認 農		水稻	3.33 ha	ha	水稻	3.87 ha	ha	桃	-
利用者		水稻	1.02 ha	ha	水稻	1.02 ha	ha	紫	
認 就		水稻・麦	10.01 ha	ha	水稻・麦	9.69 ha	ha	黄色	父・喜八郎
その他		所有者管理	- ha	ha	所有者管理	0.92 ha	ha	青	
その他		未定	4.88 ha	ha	未定	4.36 ha	ha	着色無	
			ha	ha		ha	ha		
計	7経営体		24.01 ha	0 ha		24.01 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1		耕耘・収穫等の農作業全般	水稻・麦
2		耕耘・収穫等の農作業全般	水稻・麦

6 目標地図(別添のとおり)